

第2学年 生活科学習指導案

日 時 平成25年7月3日(水) 6校時

場 所 2年教室

児童数 9名

指導者 畠山 豊子

1 単元名 「生きものなかよし大作せん」(新しい生活下 東京書籍)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、生活科の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち大切にすることができるようにする。」に重点をおいて設定したものである。

ここでは、児童にとって身近な生き物を探したり、それを飼育するための環境を整えたり、さらには、その変化や成長に気付いたりする活動を行うものである。生き物を教室で飼育し、生き物を観察するという活動を通して、生命の大切さに気付き、飼育する生き物にとって必要なことを調べたり、より棲みやすい環境にするためにすみかを工夫して作ったりするなど、継続的な飼育をすることで生き物へのかかわり方も学ぶことができる単元である。

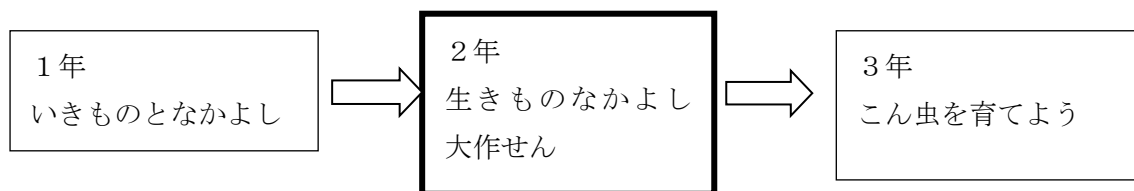
(2) 児童について

本学級の児童は、生活科の学習が大好きで楽しく活動している。教室で、ザリガニや沢蟹、グッピーを飼育している。係を決めてお世話をしているが、水替えを手伝ったり、休み時間に観察をしたりして親しみをもっている児童も多い。しかし、生き物の様子を見て飼育するところまで至っていない。餌を入れすぎたり、水が汚れていても気にしなかったり、生き物も同じ生命をもった仲間という意識が低いと考えられる。また、ザリガニや沢蟹に触れる子も少ない。

(3) 指導について

本単元では、生き物の飼育するための環境を調べて、生き物を観察しながら、生き物に合わせてお世話する活動を行っていく。そして、1年生を招待して、学習してきたことを発信させる場を設定する。その活動に向けて、生き物について気付いたことを絵や文・クイズで紹介し、楽しく表現する力を育てていきたい。生き物を継続して世話をする活動を行うことで、生き物に関心を持ち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付かせたい。また、生き物の世話を継続してできるようになった自分たちの成長にも気付かせたい。

(4) 学習の関連



3 単元の目標及び評価規準

目標	生き物を飼育したり観察をしたりすることに関心を持ち、それらの育つ場所、種類による世話の仕方の違い、変化や成長の様子、自分たちと同じように生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切に飼育を続けたり、自分たちが育てた生き物のことを他者に伝えたりすることができる。
評価規準	【生活への関心・意欲・態度】 地域にいる生き物に関心を持ち、地域で生き物を探したり学校で飼育したりしようとしている。
	【活動や体験についての思考・表現】 生き物の育つ場所やえさを考えて、生き物を探したり飼育したりするとともに、飼育してきた生き物の様子や自分の世話を振り返り、それを工夫して表現している。
	【身近な環境や自分についての気付き】 生き物の変化や成長の様子や、生き物が自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに、自分が生き物に親しみをもって上手に世話ができるようになったことに気付いている。

4 単元の指導計画及び評価計画（10時間扱い）

小単元名	時数	主な学習活動	評価規準・評価方法
生きものをさがしに行こう	2	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中でみつけた生き物やその場所について教え合う。 生き物を見つける方法や飼育した経験などを話し合い、生き物を見つける計画を立てる。 	<p>【関】身の回りの生き物に関心を持ち、生き物を見つけに行く計画を立てようとしている。 [発言・行動観察]</p> <p>【思】これまでに生き物にかかわった経験を振り返り、生き物のいそうな場所やつかまえ方を考え、友達と教え合っている。 [発言・行動観察]</p>
生きものをつかまえよう	2	<ul style="list-style-type: none"> 生き物を見つける準備をする。 身近な場所に出かけ、安全に気を付けながら、友達と協力して生き物を見つける。 みつけた生き物のうち、学校で飼育できそうなものを最低限持ち帰る。 生き物を見つけたときのことや、みつけた場所のことなどを振り返る。 	<p>【関】身近な地域に出かけて、安全に留意しながら、生き物を見つけようとしている。 [発言・行動観察]</p> <p>【思】生き物名人に教わったり、友達と相談したりしながら、工夫して生き物を見つけようとしている。 [行動観察・記録]</p> <p>【気】生息している場所やえさといった、生き物の特徴に気付いている。 [発言・行動観察]</p>

<p>生きものを そだてよう</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して飼うために必要なえさやすみかについて、話し合ったり、調べたりする。 ・みつけた場所にもう一度行くなどして、生き物がすみやすい環境について調べる。 ・継続して世話をしたり、様子を観察したりしながら、生き物を大切に飼う。 	<p>【関】 生き物の飼育に関心を持ち、継続的に世話をしたり観察しようとしたりして、大切にしようとしている。 [発言・行動観察]</p> <p>【思】 生き物の世話の仕方について、調べたり相談したりしながら考え、工夫して世話をしている。 [発言・記録]</p> <p>【気】 生き物の動きや形状などの特徴、変化や成長の様子、生命をもっていること気付くとともに、生き物にはそれぞれ適した世話の仕方があることに気付いている。 [発言・行動観察]</p>
<p>生きもの 広場に しよう たい しよう</p>	<p>4 本時 3 / 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの飼育のことを振り返り、みんなに伝えたいことを、グループで話し合って決め、準備をする。 ・自分たちが飼育している生き物のことを友達に分かりやすく伝える。 ・1年生を招待して、自分たちが飼育している生き物のことを分かりやすく伝える。 ・振り返りをする。 	<p>【関】 自分が生き物を飼育してきたことを、友達や身近な人に伝えようとしている。 [発言・行動観察]</p> <p>【思】 生き物を飼育してきたことを振り返り、伝える相手に応じた方法を考えて、作品をつくったり、伝え方を工夫したりしている。 [発言・作品]</p> <p>【気】 生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになった自分の成長に気付いている。 [発言・行動観察]</p>

5 本時の指導

(1) ねらい

自分たちが大切に育ててきた生き物について、気付いたことや分かったことなどを、1年生に分かりやすく伝えるための準備をすることができる。

(2) 仮説にかかわって

手立て② 気付きの質を高める工夫	<p>お互いの発表を聞き合い、友達のをさを発表させることで、分かりやすいつたえ方について気付かせたい。また、生き物について知らせたいことが伝わらせるために大事なことを考えさせたい。</p> <p>児童の発表の後で、教師が飼育していた生き物の紹介を考えさせる。紹介の順番や紹介の仕方を考えさせることにより、1年生に伝えるために大事なことをまとめることができる。</p>
-------------------------	---

(3) 展開

段階	学習活動	児童の反応	指導上の留意点
つかむ 5分	<p>1 生きものひろばの計画を確認する。</p> <p>2 学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>1年生に分かりやすくおしえることができるようにれんしゅうしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、練習する時間です。 ・1年生が、分かるように教えたいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものひろばの計画を確認することで、見通しをもち考えるようにさせる。 ・1年生にどんなふうに教えたらよいか考えさせて、めあてを考えさせる。
かかわる 30分	<p>3 紹介するとき大事なことを話し合う。</p> <p>4 生き物の紹介の仕方を相談・練習する。</p> <p>5 お互いに生き物の紹介を聞き合い、よいところやなおすところを教える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・～を教えたい。 ・ゆっくり話そう。 ・動作を大きくしよう。 ・順番を変えようかな。 ・ここは、ゆっくり話そう。 ・絵が分かりやすいね。 ・もう少し大きな声で話して。 ・動作が大きくて分かりやすいね。 ・順番を変えたらどうかな。 ・大事なことは、～だから、～を大きな声で話そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教えたいことと話し方のきまりを確認する。 ・何を伝えるためにどんなことを工夫するのか考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>手立て② 気付きの質を高める工夫 ○子どもの事象とのかかわりを深めさせる。 ・交流 ・教師の演示</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の話聞いて分かったことと話し方のよかったことを交流させる。シートに聞いてよかったことや直したいことを書かせる。

	6 教師が紹介する生きものの紹介の仕方を考える。	・生きものの真似をしたら分かりやすいです。	・紹介するものの準備はしておき、発表の進め方や工夫を考えさせる。
まとめ 10分	7 本時の活動を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。	・練習したので、生き物のことを分かりやすく教えられます。 ・1年生に教えてあげるのが楽しみです。	・本時の活動を振り返り、1年生に教えるにはどうしたらよいか振り返り、次の活動への意欲を高める。

(4) 評価規準

おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
【関心・意欲・態度】 生き物を飼育してきたことを振り返り、伝える相手に応じた方法を考え、伝え方を工夫している。	生き物の何を伝えたいのか、伝えるためにどんなことを工夫するとわかりやすいのか支援する。

(5) 板書計画

<p>生きものひろば</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1年生に分かりやすくおしえることができるようにれんしゅうしよう。</p> </div> <p>だいじなこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おしえたいこと ・話しかた <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 そうだんする 2 聞きあう 3 おしえあう</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>分かりやすくおしえるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうさをつける ・生きものを見せる ・さわらせる ・はなしかた (こえ, ゆっくり) </div> <p>○よかったところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵が分かりやすい ・さわらせている ・はっきり話している ・見せている ・どうさをつけている <p>☆なおすとよいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなこえで ・ゆっくり話す
---	--

(6) 場の設定

